

第2学年 国語科学習指導案

期 日 平成28年11月2日(水) 5校時
 場 所 2年教室
 児 童 男子14名 女子20名 計34名
 授業者 千葉 陽子

1 単元名 「じんぶつと自分をくらべて読もう」(読むこと)

主な学習材 「わたしはおねえさん」(光村図書2年下)

【目指す児童の姿】

- 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。
- 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いと考えをまとめ、発表し合うことができる。

【取り入れる主なUDの視点】

- 1-③ 興味・関心を高める工夫
- 1-⑤ 思考の手がかりをもたせる工夫
- 1-⑧ 集中力を高めたり、気分を切り替えたりする工夫

2 単元について

(1) 児童について

本学級の児童は、国語科の学習において、言葉からイメージすることが好きで、場面の様子や登場人物の声や表情を想像して動作化する活動に興味をもって取り組んでいる。しかし、関心が薄れると、集中が切れやすい面も見られるため、興味を引くような学習活動を織り交ぜながら学習を進めてきた。また、理解や定着への個人差も大きいいため、大事なことを見やすく提示したり繰り返して学習したりするようにしたりしてきた。さらに、何をどのように書いてよいかわからない児童には、手がかりとなる言葉を示すことで、学習活動への抵抗感を減らすようにしている。

文学的文章の学習においては、「本や文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む」力を身に付けるために、「スイミー」や「ミリーのすてきなぼうし」では、登場人物の行動に着目しながら、自分の好きなところを見つけて紹介し合う学習を行ってきた。多くの児童は、物語の中から自分の好きなところを見つけて友達に紹介することが好きである。しかし、レディネステストの結果、会話文や行動から文の主語を正しく見つけることや、人物の気持ちや思いを文章の中から理由を具体的に挙げて読むことが苦手な児童が少なくないことが分かっている。さらに、普段の読書体験の様子から、話の内容と自分自身の中にある知識や経験を結び付けながら感想を言ったり書いたりする児童は限られている。

そこで、本単元では、挿絵を手がかりにすることはあっても、叙述を根拠にしているか確認しながら、人物の行動や心情を読み取らせるようにする。また、児童の実態から、集中が切れないように、人物になりきって動いたり、音読したりする活動を取り入れる。さらに、友達の経験を聞き、自分と比べながら登場人物の思いを想像して読む活動を展開したいと考える。

(2) 学習材について

この物語の登場人物は二人で、二人の行動や会話文の読み取りを通して、人物の行動を中心に想像を広げて読む力を付けるのにふさわしい学習材である。また、主人公は、児童と同じ2年生である。実際に、主人公と似たような体験をしている児童が多いと思われる。宿題に取りかかるころという設定も日常生活の中でよくある一場面であり、状況を理解しやすいと考えられる。さらに、宿題をぐちゃぐちゃにされる場面では、同じ経験がある児童は、気持ちに共感できるであろう。そのため、子どもたちにとって「自分だったら」と比べて感想をもつのに適した学習材である。ただし、成育歴や生活環境によっては、場面理解に違いが生じることもあると思われる。そこで、幼稚園や保育園での経験や、生活科の学習場面などを思い出させるなどして、「自分だったら」と立ち止まらせながら、読み進めさせたい。また、体験とつなげながら読むことは、今後の読書活動をより豊かにするものになると考える。よって、「すみれちゃんシリーズ」やすみれちゃんと同じように登場人物の心が揺れ動くような物語の読み聞かせを課外で行いながら、自分と比べて読む活動を複数組んでいこうと考えた。



(3) 指導にあたって

○集中力を高めるために (1-③興味・関心, 動機付けを図る工夫) (1-⑧ 集中力を高めたり, 気分を切り替えたりする工夫)

- ・課外で「すみれちゃんシリーズ」や登場人物の心が揺れ動くような物語の読み聞かせを行う。
- ・心情をモデル化した表情カードを使用して, 人物の思いや気持ちへの興味を高める。
- ・会話文の役割読みをすることで, 学習内容に集中できるようにする。

○登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができるようにするために

- ・単元の学習の前に, 個々の学習課題に合わせて音読の練習をさせるなど, 学習自体への個人差を減らす。
(1-③ 興味・関心, 動機付けを図る工夫)
- ・会話文の役割読みや動作化をさせることで, 会話や行動から場面の様子をより具体的にイメージできるようにする。
(1-⑤ 思考の手がかりをもたせる工夫)

○文章の内容と自分の経験とを結び付けて, 自分の思いと考えをまとめ, 発表し合うことができるように

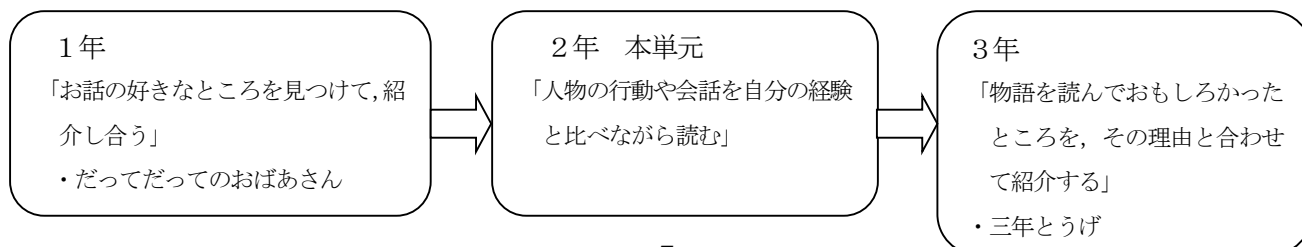
- ・すみれちゃん宛てに手紙を書くことで, すみれちゃんの思いを想像したり, 自分と比べたりする。
(1-③興味・関心, 動機付けを図る工夫)
- ・単元前や単元の中に, 年下の子との関わりを思い出させるような学習活動を入れたり, 本を紹介したりする。
(1-⑤ 思考の手がかりをもたせる工夫)
- ・共通の経験をもつ児童に, 体験やそのときの思いを話させ, 自分の体験を思い出させる。
(1-⑤ 思考の手がかりをもたせる工夫)

3 単元の指導目標と評価規準

項目	目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	登場人物と自分の体験や気持ちを比べたり重ねたりしながら, 興味をもって物語を読もうとする。	・人物の言動を, 自分の体験や気持ちと比べながら興味をもって読もうとしている。(発言) ・心惹かれた本の中の人物を紹介するために, 同年代の人物が出てくる本を自分から読もうとしている。(観察)
読む能力	場面の様子について, 登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読むことができる。(1)ウ	・人物の行動や会話などから, 人物の行動の気持ちを想像しながら読んでいる。(ワークシート)
	文章の中の大事な言葉や文を書き抜いたり, 文章の内容と自分の経験とを結び付けたりして, 自分の思いや考えをまとめている。(1)エ, オ	・時, 場所, 人物の行動, 出来事など, 文章の中で大事になる言葉や文, 心に残った言葉や文を適切に書き抜き, 自分の経験や思いと比べながら感想を書いている。(発表・ワークシート)
言語についての知識・理解・技能	主語と述語の関係に注意しながら, 文や文章を読んだり書いたりすることができる。(1)イ(カ)	・主語と述語の照応関係に気を付けて, 文章を読んだり, 感想を書いたりしている。 (発言・ワークシート)

4 単元の関連と系統

< 読むこと(1)ウ・エ・オ 言語(1)イ(カ) >



5 学習指導計画（全10時間）

【指導過程】	【主な学習活動】	【言語活動】	【取り入れるUDの視点】
<p>第1次 学習の見通しをもつ。（1時間）</p>	<p>① 登場人物と自分を比べながら読む体験をする。</p> <p>① 年下の子どもとの関わりの経験を話し合い、学習のねらいと見通しをもつ。</p>	<p>◆ 人物と自分とくらべて感想を書こう。</p>	<p>1-③ 興味・関心 動機づけを図る工夫</p>
<p>第2次 大まかな内容をとらえ、心に残ったところを選び、自分と比べて感想を書く。（6時間）</p>	<p>② 話の大体の設定（あらすじ）をつかむ。</p> <p>③ すみれちゃんの人物像を読み取る。</p> <p>④ ちょっとしたことが起こる前の場面の様子を想像して読む。</p> <p>⑤ すみれちゃんがじっとノートを見ていた場面の様子を想像して読む。（本時）</p> <p>⑥ すみれちゃんがわらいだした場面の様子を想像して読む。</p> <p>⑦ 心に残った部分とその理由を書き、自分と比べて感想を書く。</p>		<p>1-⑧ 集中力を高めたり、気分を切り替えたりする工夫</p>
<p>第3次 紹介する文を書いて交流する。（3時間）</p>	<p>⑧⑨あらすじを考えて、感想をまとめる。</p> <p>⑩ 感想を交流する。</p>		<p>1-⑤ 思考の手がかりをもたせる工夫</p>

6 本時の指導（5/10）

(1) 目標と評価規準

登場人物の行動や会話から場面の様子を想像することができる。読(1)ウ	
具 体 の 評 価 規 準	
A	B
すみれちゃんの行動や会話から場面の様子を想像し、じっとノートを見ていたすみれちゃんの思いを読み取り、自分と比べて、すみれちゃんにお手紙形式で感想を書いている。（発言・ワークシート）	すみれちゃんの行動や会話から場面の様子を想像し、じっとノートを見ていたすみれちゃんの思いを読み取り、お手紙形式で感想を書いている。（発言・ワークシート）

(2) 展開

段階	学習活動	学習内容	指導上の留意点 (○) UDの視点による手だて (★・) 評価
導入 (5)	<p>1 学習課題を解決する見通しをもつ。</p> <p>(1) 前時の学習を振り返り、学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">じっと、ノートを見ていたすみれちゃんは、どんなことを思っていたかな。</div> <p>(2) 学習の見通しを立てる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">したこと → 思い → 手紙 会話</div>		<p>○すらすら音読ができるように練習をさせておく。</p>
展開 (35)	<p>2 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 学習場面を音読する。</p> <p>(2) 登場人物の行動や会話を確認する。</p> <p>(3) 場面の様子を想像する。</p> <p>(4) すみれちゃんの思いを想像する。</p> <p>3 すみれちゃんへの手紙を書く。</p> <p>(1) すみれちゃんの行動や思いに対する感想を話す。</p> <p>(2) 手紙を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">すみれちゃんは、ノートに書かれていやだったよね。おこらなかつたから、えらいなあ。</div>	<p>○主語・述語</p> <p>○会話「 」</p> <p>○驚き</p> <p>・「かりん、何してるの。」</p> <p>○悲しみ、怒り</p> <p>・「もう、かりんたら、もう。」</p> <p>○複雑な気持ち</p> <p>・すみれちゃんは、なきたいのかおこりたいのか分からなかった。</p> <p>○接続語</p> <p>・それで</p> <p>○感想の言葉</p> <p>・やさしいね。</p> <p>・えらいな。</p> <p>・自分だったら～</p>	<p>○行動や会話文を確かめる。</p> <p>○会話から人物の思いを、想像して読ませる。</p> <p>★1-③ 興味関心、動機付けを図る工夫</p> <p>・表情カードを、叙述に沿って選ばせる。</p> <p>★1-⑤ 思考の手がかりをもたせる工夫</p> <p>・役割読みや動作化を通して、人物の思いを想像させる。</p> <p>・似たような経験話がある児童に、そのときの体験と思いを話させ、友達に紹介する。</p> <p>★1-⑤ 思考の手がかりをもたせる工夫</p> <p>・すみれちゃんの行動や思いを、文章で表現できるよう、文型の例を示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><評価></p> <p>場面の様子やすみれちゃんの思いを想像し、感想を手紙形式で書くことができたか。(ワークシート)</p> </div>
終末 (5)	<p>4 学習の振り返りをする。</p> <p>・人物の思いを考えることができた。</p> <p>・人物へ手紙を書くことができた。</p> <p>・友達の発表のよかったところ。</p> <p>5 次時の学習を確かめる。</p>	<p>○今後の読みに生かせること</p> <p>・自分と比べて読むよさ</p>	

(3) 板書計画

わたしはおねえさん

いしい むつみ

11/2 60ページ5行〜61ページ

じつと、ノートを見ていたすみれちゃんは、どんなことを思っていたかな。

かりんの
後ろ姿

びっくり ノートに何を書いているのだろう

㊦ 「かりん、何してるの」



おどろいて

㊧ 「おへんきよ。」

わたしのノートに書くなって



なきごころ

㊨ 「もう、かりんたら、もう。」

へんきょうなわけじゃない



おこりそう

それで、

じつと、ノートを見ていました。

ぐじやぐじや
のもの

すみれちゃんへ

すみれちゃんは、ノートに書かれていやだったよね。おこらなかつたから、えらいなあ。

わたし・ぼくだったら

。